

日常生活の中で取り組んでみよう！

ここでは、日常生活の中で温室効果ガスの排出削減につながる取組について、年間の温室効果ガス削減効果と節約額の目安をまとめてみました。みなさんも、これを参考にコツコツとできることに取り組みましょう！

■家庭でできる身近な取組

	取組項目	年間CO ₂ 削減効果	年間節約額の目安
リビング	1 夏は冷房の設定温度を28℃にする(1℃上げて27℃→28℃にする)	17.2kg	約 820円
	2 冬は暖房の設定温度を20℃にする(1℃下げて21℃→20℃にする)	30.3kg	約 1,430円
	3 冷房の使用時間を1日1時間短縮する	10.7kg	約 510円
	4 暖房の使用時間を1日1時間短縮する	23.2kg	約 1,100円
	5 エアコン(冷暖房)のフィルターをこまめに掃除する	18.2kg	約 860円
	6 石油ファンヒーターの設定温度を20℃にする(1℃下げて21℃→20℃にする)	25.4kg	約 1,020円
	7 石油ファンヒーターの使用時間を1日1時間短縮する	41.8kg	約 1,700円
	8 電気カーペットの設定温度を「中」にする(「強」→「中」に下げる)	106.0kg	約 5,020円
	9 電気カーペットは部屋にあったサイズのものを使用する	51.2kg	約 2,430円
	10 こたつの設定温度を下げる(「強」→「中」)	27.9kg	約 1,320円
	11 こたつ布団に敷布団と上掛け布団をあわせて使用する	18.5kg	約 880円
	12 照明器具を電球型LEDランプに取り替える	50.8kg	約 2,410円
	13 電球型LEDランプの点灯時間を1日1時間短縮する	1.9kg	約 90円
	14 テレビをつける時間を1日1時間短縮する	9.6kg	約 450円
	15 テレビの画面は明るすぎないようにする	15.4kg	約 730円
	16 デスクトップ型パソコンの使用時間を1日1時間短縮する	18.0kg	約 850円
	17 デスクトップ型パソコンの電源オプションを「モニタの電源をオフ」から「システムスタンバイ」に変更する	7.2kg	約 340円
キッチン	18 冷蔵庫にものを詰め込みすぎない	25.0kg	約 1,180円
	19 冷蔵庫の設定温度を適切にする(「強」→「中」に下げる)	35.2kg	約 1,670円
	20 冷蔵庫の無駄な開閉をやめる	5.9kg	約 280円
	21 冷蔵庫を開けている時間を短くする	3.5kg	約 160円
	22 冷蔵庫は壁から適切な間隔で設置する	25.7kg	約 1,220円
	23 野菜の下ごしらえにガスコンロではなく電子レンジを活用する(葉菜)	11.4kg	約 1,060円
	24 野菜の下ごしらえにガスコンロではなく電子レンジを活用する(根菜)	9.1kg	約 1,030円
	25 野菜の下ごしらえにガスコンロではなく電子レンジを活用する(果菜)	12.1kg	約 1,150円
	26 使わない炊飯器のプラグを抜く	26.1kg	約 1,240円
	27 電気ポットを長時間使用しないときは保温にせずプラグを抜く	61.3kg	約 2,900円
	28 ガスコンロは「強火」から「中火」に調節する	5.4kg	約 410円
お風呂・トイレ	29 入浴は間隔をあけずにする	87.0kg	約 6,530円
	30 シャワーの使用時間を1分短縮する	29.0kg	約 3,180円
	31 温水洗浄便座は使わないときフタを閉める	19.9kg	約 940円
	32 温水洗浄便座の暖房の温度は低めにする(「中」→「弱」に下げる)	15.0kg	約 710円
	33 温水洗浄便座の洗浄水の温度は低めにする(「中」→「弱」に下げる)	7.9kg	約 370円
洗濯・掃除	34 洗濯物はまとめて洗いをする	3.4kg	約 3,980円
	35 部屋を片づけてから掃除機をかける	3.1kg	約 150円
	36 掃除機の集塵パックは適宜取り替える	0.9kg	約 40円
他	37 不要な家電製品は主電源を切る(待機電力の削減)	63.8kg	約 3,024円
出典:「家庭の省エネ徹底ガイド」資源エネルギー庁		合計	924.0kg 約 53,184円

地球温暖化対策に取り組むことは、節約にもつながります。さらに、ふんわりアクセルや加減速の少ない運転をするなど「エコドライブ」を実践することでさらに効果が上がります。



これらの取組をすべて実践すれば、**1世帯あたり年間で約1トン**のCO₂が削減できます。これは、**スギ約66本**が吸収する量と同じ効果です！
※50年生のスギ1本あたり吸収量を約14kg-CO₂としています。

この冊子のお問い合わせ先

十日町市市民福祉部環境衛生課 エコクリーンセンター内
〒948-0056 新潟県十日町市丑915番地2
TEL 025-752-3924(直通) FAX 025-757-1751 E-mail t-kankyo@city.tokamachi.lg.jp



十日町市 地球温暖化対策実行計画

[区域施策編]

概要版

地球温暖化ってなんですか？



地球は太陽から流れ込む日射エネルギーによって暖められ、宇宙に熱を放出しています。宇宙に放出される熱を逃がしにくくする性質をもった二酸化炭素(CO₂)などの「温室効果ガス」のおかげで、平均気温が15℃とほぼ一定となり、人間などの生物が生きるのに適した環境が保たれています。

産業革命以降、人間が石油、石炭などの化石燃料を大量に燃やしたことで、多くの二酸化炭素が排出されるようになりました。これによって、大気中の温室効果ガスの濃度が上昇し、地表や大気の温度が高くなる現象が地球温暖化です。

地球温暖化が進むとどうなるの？

地球温暖化によって気温が上昇することで、右図に示すように、海面上昇、洪水豪雨、インフラ機能停止をはじめ、様々な影響が予測されています。本市においても、積雪量の減少によってスキー場への影響など様々な問題が生じる恐れがあります。



出典 温室効果ガスインベントリオフィス 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<http://www.jccca.org/>) より

1 海面上昇 高潮 <small>(沿岸、島しょ)</small>	2 洪水 豪雨 <small>(大都市)</small>	3 インフラ 機能停止 <small>(電気供給、医療などのサービス)</small>
4 熱中症 <small>(死亡、健康被害)</small>	将来の 主要なリスク とは？ <small>複数の分野地域におよぶ 主要リスク 出典) IPCC第5次評価報告書 WGII</small>	5 食糧不足 <small>(食糧安全保障)</small>
6 水不足 <small>(飲料水、灌漑用水の不足)</small>	7 海洋生態系 損失 <small>(漁業への打撃)</small>	8 陸上生態系 損失 <small>(陸域及び内水の生態系損失)</small>

十日町市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)はどんなもの？

本計画は、市民、事業者、市が一体となって、総合的かつ計画的に地球温暖化対策に取り組むため、十日町市全域の温室効果ガス排出量をどれだけ減らすか(目標設定)、どんな対策に取り組むべきか(施策)を示しています。

- ◇ 計画期間：2016年度～2025年度(10年間)
- ◇ 基準年度：2013年度(温室効果ガスの総排出量を比較する年度)
- ◇ 目標年度：短期目標 2020年度 / 中期目標2025年度(本計画の最終目標年度)
- ◇ 対象：十日町市全域の市民(日常生活)・事業者(事業活動)・市(市の事務事業)から発生する温室効果ガス

十日町市内から温室効果ガスってどれくらい出ているの？

2014年度の排出量は、291.8千t-CO₂となっており、1990年度と比べると、約7%減少しています。

2014年度を部門別に見ると、民生家庭部門からが最も多く、次いで民生業務部門となっています。

1990年度からの推移を見ると、民生家庭部門と民生業務部門は1.6～1.7倍ほど増加しています。

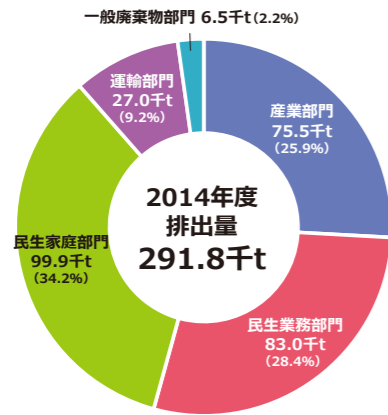


図 温室効果ガスの部門別排出割合
※四捨五入のために合計が291.8千t、100%になりません

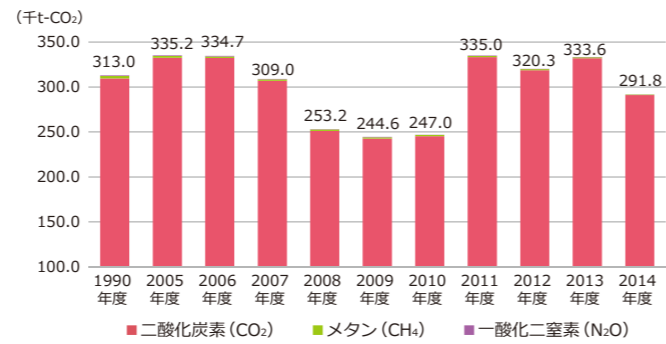


図 本市の温室効果ガス排出量の推移

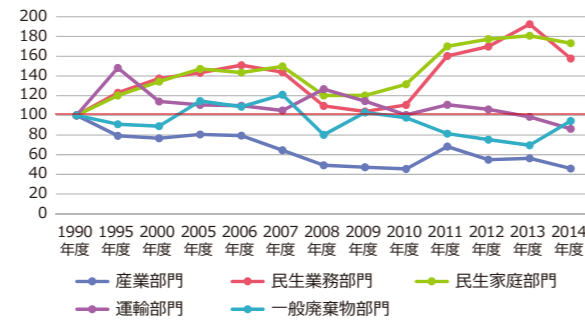


図 本市の部門別排出量の推移 (1990年度を100とする)

温室効果ガス排出量削減目標は？

本計画では、短期目標 (2020年度)、中期目標 (2025年度) を設定しており、**中期目標として基準年度から温室効果ガス排出量を43%以上削減**することを目指します。

- 【短期目標 2020年度】
基準年度比**23%以上削減**
(現状すう勢ケースから約**17.6千t-CO₂削減**)
- 【中期目標 2025年度】
基準年度比**43%以上削減**
(現状すう勢ケースから約**60.8千t-CO₂削減**)

温室効果ガス排出量の算定は、ガイドラインに基づき、各種統計資料などを用いて算出しています
※現状すう勢ケースとは、過去の排出量の推移をもとに、温暖化対策を講じないものとし、将来の排出量を推計 (予測) した数値です

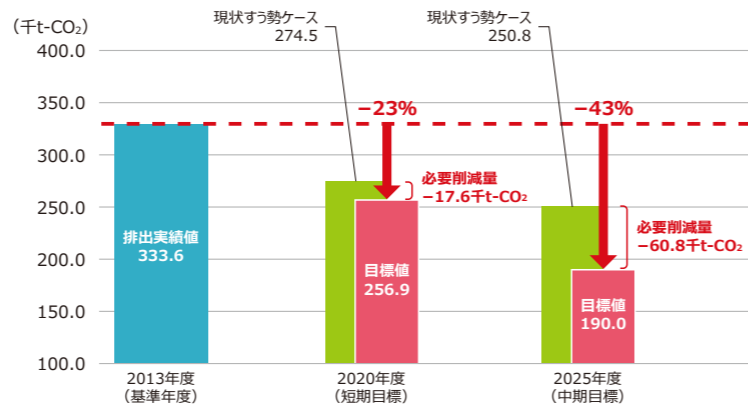


図 計画における削減目標

コラム 『温室効果ガス排出量6万トン-CO₂の削減について』

本計画の**中期目標**を達成するためには、**温暖化対策を講じて温室効果ガスを約6万t-CO₂削減**する必要があります。この6万t-CO₂とは、どの程度の量なのでしょうか。ここでは、目安として家庭と自動車の例に置き換えてみました。

- 市内の約11,300世帯 (全世帯数の約6割) が1年間に排出するCO₂の量に相当します。
※十日町市の1世帯あたりが排出するCO₂の量は約5.3t (2013年度実績)

- 自動車で地球を約65周走った際の排出量、また自動車261台が1年間に走った際のCO₂排出量に相当します。
※ガソリン1ℓあたりのCO₂排出量2.3kg、自動車1台あたりの燃費を15km/ℓとして計算



みんなでどんなことに取り組むの？

市民、事業者、市が一体となって温暖化対策 (温室効果ガス排出量削減) に取り組み、目標である「2025年度には、基準年度 (2013年度) と比較して温室効果ガス排出量 43%以上削減」の実現を目指します。

地球温暖化を防ぐには、わたしたち一人ひとりが自覚をもち、積極的に行動していくことが必要です。

市民の取組

- 再生可能エネルギー導入の推進
 - 住宅に太陽光発電システムや地中熱利用システム、ペレットストーブなどの再生可能エネルギーを利用した設備導入を検討します。
- 省エネルギー化の推進
 - 家電製品などの買い替えや購入の際には、省エネ性能に優れた製品の購入に努めます。
 - 住宅を新築・改築する際は、高性能な断熱材の建材利用など、建築物の省エネ化に努めます。
- 自動車から出るCO₂の削減
 - 車を運転する際は、エコドライブを実践し、近距離の移動は、なるべく徒歩や自転車の利用に努めます。
 - 車の買い替え時は、電気自動車、ハイブリッド車などの低燃費自動車を選ぶように努めます。
- 緑化の推進
 - 緑のカーテンなど、住宅の緑化に努めます。
- ごみの減量化・再資源化と資源の有効利用
 - 3R (リデュース・リユース・リサイクル) を実践し、ごみの減量化・再資源化に努めます。
 - マイバック持参によるレジ袋の削減、廃食用油の回収などに協力します (エコポイント事業の実践)。
- 意識啓発に関すること
 - 環境フェアなどの環境に関するイベントや自然体験への積極的な参加に努め、温暖化対策に関する意識を高めます。
 - 市や事業者が実践する温室効果ガスを削減する活動に積極的に協力します。
- 日常におけるエコ活動の推進
 - 家庭でできる温暖化対策の取組実践に努めます。

温室効果ガス削減目標の達成

《削減目標》
2025年度における温室効果ガス排出量
-43%
(2013年度比)

事業者の取組

- 再生可能エネルギー導入の推進
 - 工場や店舗、事務所などに太陽光発電システムや地中熱利用システム、ペレットストーブなどの再生可能エネルギーを利用した設備の導入を検討します。
- 省エネルギー化の推進
 - クールビズなど、オフィスでのエコ活動に努めます。
 - 空調機などの設備機器の更新や導入の際には、省エネ性能に優れた設備の導入に努めます。
 - 建物を新築・改築する際は、高性能な断熱材の建材利用など、建築物の省エネ化に努めます。
- 自動車から出るCO₂の削減
 - 外出や出張で車を運転する際は、エコドライブの実践に取り組みます。
 - 車の買い替え時は、電気自動車、ハイブリッド車など低燃費自動車を選ぶように努めます。
- 緑化の推進
 - 屋上や駐車場など敷地内の緑化に努めます。
- ごみの減量化・再資源化と資源の有効利用
 - 店舗では過剰包装を自粛するとともに、レジ袋減量のためマイバックの利用促進に努めます。
 - 事業活動で出る廃棄物は、自らの責任で適正処理するとともに、紙類など、資源化が可能なものはリサイクルします。
- 意識啓発に関すること
 - 環境フェアなどの環境に関するイベントや自然体験への積極的な参加に努め、地球温暖化対策に関する意識を高めます。
 - 市や事業者が実践する温室効果ガスを削減する活動に積極的に協力します。

次ページの「日常生活の中で取り組んでみよう！」を参照ください。

市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策を推進

市の取組

- バイオマス産業都市の構築 (低炭素社会の推進)
- 再生可能エネルギーの導入、市民などへの導入支援
- 省エネルギー化の推進
- 循環型社会の推進 (ごみの減量化・再資源化)
- 市の事務事業における温室効果ガス排出量削減
- 市民・事業者への情報発信、意識啓発 など

コラム 『十日町市の再生可能エネルギー導入目標について』

第二次十日町市総合計画では、地域資源を活用した再生可能エネルギーの最大限の創出を未来戦略として位置づけ、市内電力消費量に対する再生可能エネルギーの割合を平成37年度までに30.0% (90,000メガワット) に引き上げる目標を掲げ、再生可能エネルギーの最大限の創出を推進しています。

